



特集

輝けくまもと農業

農業は、食料の生産、供給のみならず、その営みそのものが生命と健康につながる産業です。県では、明るく元気な農業を目指して、安全・安心を基本とした魅力ある農産品づくりや、生産者と消費者の交流活動の促進などに取り組んでいます。

熊本県広報誌 県からのたより

個性とこだわりの熊本ブランド ひごさかえ肥皇誕生!

県農業研究センターが開発した豚「ヒゴサカエ302」を活用した県産ブランド豚肉「ひごさかえ肥皇」の販売が、今年3月から始まりました。



「ひごさかえ肥皇」として販売される豚肉とは?

- 1 生産方法** 繁殖能力などに優れた豚(ヒゴサカエ302)に、ほかの品種を2代にわたり交配。
- 2 衛生管理** 衛生的な豚舎で管理され、薬剤使用量などが一定基準以下。
- 3 飼料** 麦類などを10%以上添加し、抗生剤などが入っていない仕上飼料を60日間以上与えられている。
- 4 肉質** 肉の色が鮮明で、良質な脂質と、さしが特徴。

安全・安心!

風味と香りアップ!

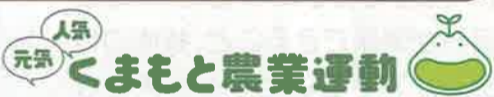
肉汁が多く、おいしい!



おいしい食べ方

素材がいいので、シンプルな料理がお薦めです。「しゃぶしゃぶ」「ソテー」、もちろん「トンカツ」も最高です。

人気上昇中!くまもとのオリジナル農産品



いちご「ひのしずく」
大玉で甘さや香りが抜群。消費者の高い評価で、県を代表する新しいブランドに。



地鶏「天草大王」
写真:原種 天草大王
あまくさだいおう
しっかりとした歯応えと、コクのあるうまさの評判の逸品。



みかん「肥のあかり」
「肥のあかり」「肥のあすか」「肥のみらい」など、県独自のみかんを開発。リレー出荷を目指します。



なす「ヒゴムラサキ」
柔らかく食感の良い赤なす。試食販売会を通し、支持層が拡大、認知度もアップ。



なす「ヒゴムラサキ」
柔らかく食感の良い赤なす。試食販売会を通し、支持層が拡大、認知度もアップ。

爽やかな初夏の風とともに、私の足の骨折もずいぶん癒え、全快はもうすぐです。皆様からは、たくさん励まされ、心からお礼申し上げます。これから、ますます「元気な熊本づくり」にまい進して参ります。

さて、皆様は、「ひごさかえ肥皇」ブランド豚「ひのしずく(いちご)」「天草大王(地鶏)」などの農産品を食べたことはありますか。これらは、どれも研究者や生産者、加工業者、そして消費者とのパートナーシップにより生まれた、安全・安心でおいしい熊本ブランドの農産品です。

今回ご紹介するオリジナル農産品づくりや、地域の挑戦的な取り組みは、多くの方々のためめな努力の成果です。

本県では、県民の皆様「食」と「農業」の大切さについてご理解をいただきながら、個性とこだわりの農産品づくりを進めています。また、多彩な担い手を育成し、環境に配慮した農業にも積極的に取り組み、くまもとの農業が飛躍していくことを目指しています。

農業を取り巻く環境は、輸入農産物の増加や担い手の減少など、厳しい状況にあります。今後とも地域の活力を生かし、元気ある「くまもと農業」を進めて参りますので、皆様のご協力をお願いいたします。

知事室から



熊本県知事 潮谷 義子